



白鷗大学
HAKUOH UNIVERSITY

白鷗大学 ファクトブック 2026

HAKUOH UNIVERSITY FACTBOOK 2026

－ 2020 年度～2025 年度データ －

「白鷗大学ファクトブック」は、本学の教育研究活動、学生支援、地域連携および大学運営に関する情報を体系的に整理し、社会に公開することにより、本学の現状や取組について、広くご理解いただくことを目的に編纂しております。

掲載データは、原則として2020年度から2025年度までのデータを掲載し、可能な限り経年での推移を示しています。各種データは、本学の教育研究活動、学生支援、地域連携、大学運営等の状況を多面的に把握できるよう整理しています。なお、集計の対象年度、基準日、集計方法等は項目により異なる場合がありますので、各ページに記載した注記等をご確認ください。

本書は、学内外の皆さまに本学の状況を分かりやすくお伝えするとともに、大学の現状や変化を客観的に把握するための基礎資料として位置付けています。各種データを継続的に蓄積・整理し、学内での情報共有や各種取組の検討に役立てていきます。

ファクトブックに掲載している各種データの単年度の詳細情報については、[本学ホームページ](#)において公表しております。また、学校法人の概要、各年度の事業内容、詳細な財務情報等については、[学校法人白鷗大学「事業報告書」](#)をご覧ください。

本学は、建学の理念のもと、地域社会をはじめとする多様な人々とのつながりを大切にしながら、学生一人ひとりの学びと成長を支える教育活動を展開しています。また、教育・研究の成果を社会に還元し、地域に根ざした取組を進めることで、地域社会の発展や次世代を担う人材の育成に努めています。

このファクトブックが、本学に関心をお寄せいただく皆さまにとって、本学の姿をより具体的に知っていただくための資料となれば幸いです。

白鷗大学の建学理念を具現化する言葉

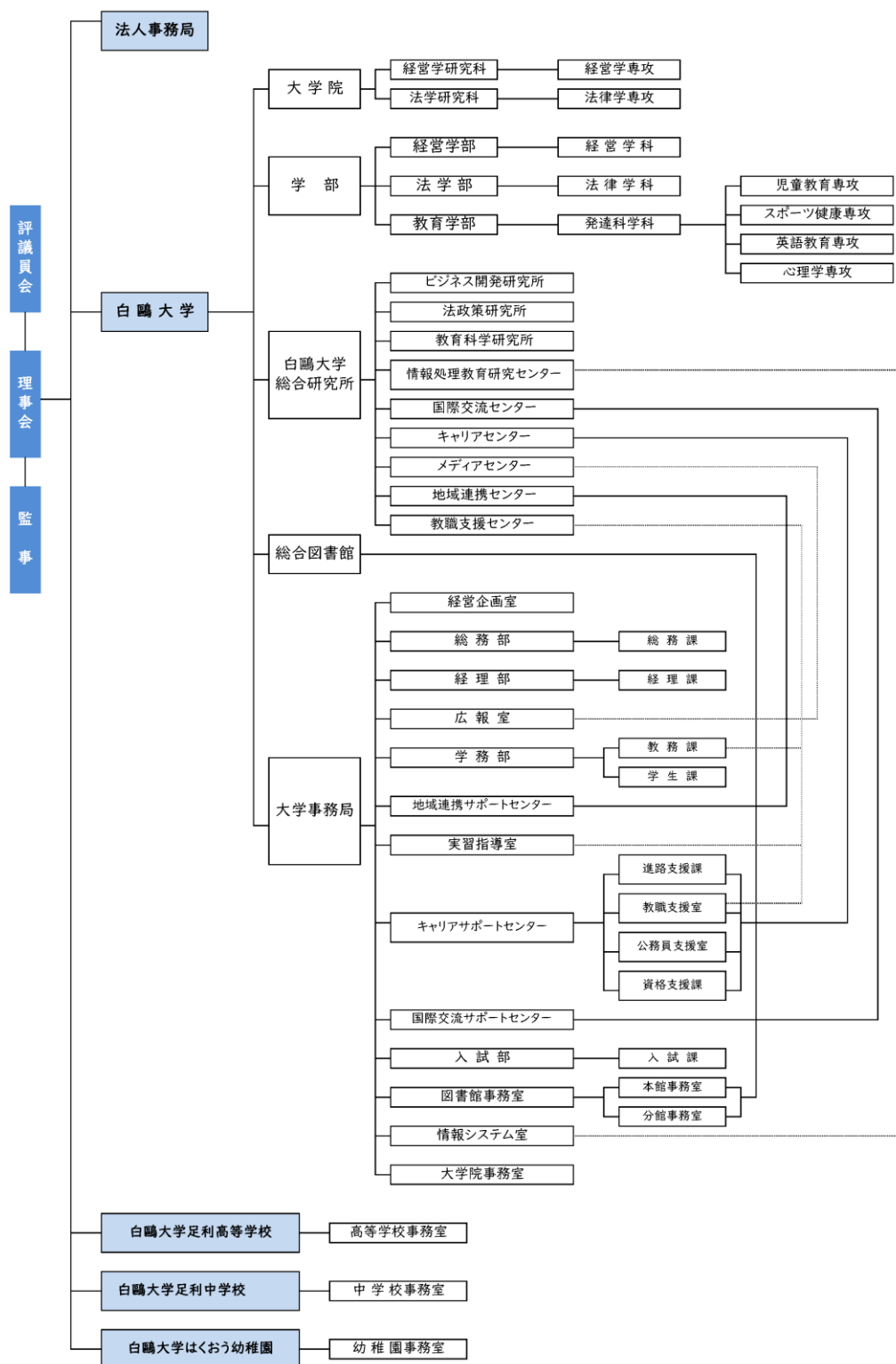
PLUS ULTRA
—— さらに向こうへ ——

「PLUS ULTRA」は、白鷗大学の記念すべき第1回卒業式において、大学創設者である上岡一嘉初代学長が、建学の精神を卒業生に託すべく贈った言葉です。

「高く広い視野に立って、たった一度の人生に情熱的にチャレンジしてほしい」というメッセージを具現化する言葉であり、現在では、本学の建学理念を表すスローガンとなっています。

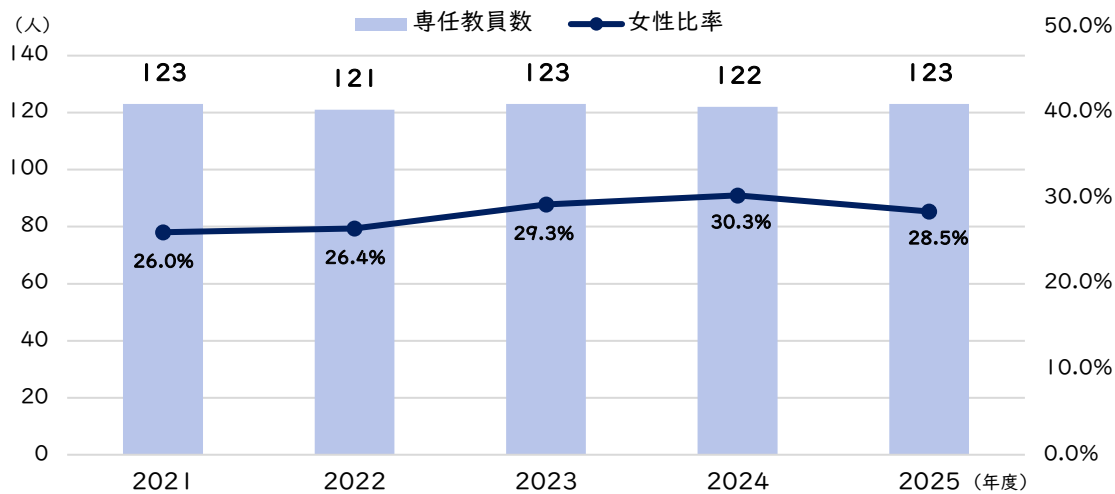
01	大学概要	
	1-1 組織図	4
	1-2 教職員の構成と教育環境	5
02	入試	
	2-1 入学者選抜の実施状況	6
	2-2 志願者・合格者の地域別状況	7
03	学生	
	3-1 在学生の状況	8
	3-2 休学・留年・離学の状況	8
04	卒業・進路	
	4-1 卒業・修了の状況	10
	4-2 卒業・修了生の累計	10
	4-3 就職の状況	11
	4-4 卒業生の就職先	11
	4-5 公務員採用試験の合格実績	12
	4-6 教員養成の実績	12
05	研究	
	5-1 科学研究費助成事業の採択状況	14
06	国際交流・国際化	
	6-1 海外留学・研修の状況	14
	6-2 留学生の受入れ	15
	6-3 海外大学等との連携	15
07	地域貢献・社会貢献	
	7-1 地域貢献・社会貢献活動の実績	17
	7-2 地域連携協定の状況	19
08	財務	
	8-1 主要財務指標の推移	21

I-1 組織図 (2025 年 4 月 1 日現在)

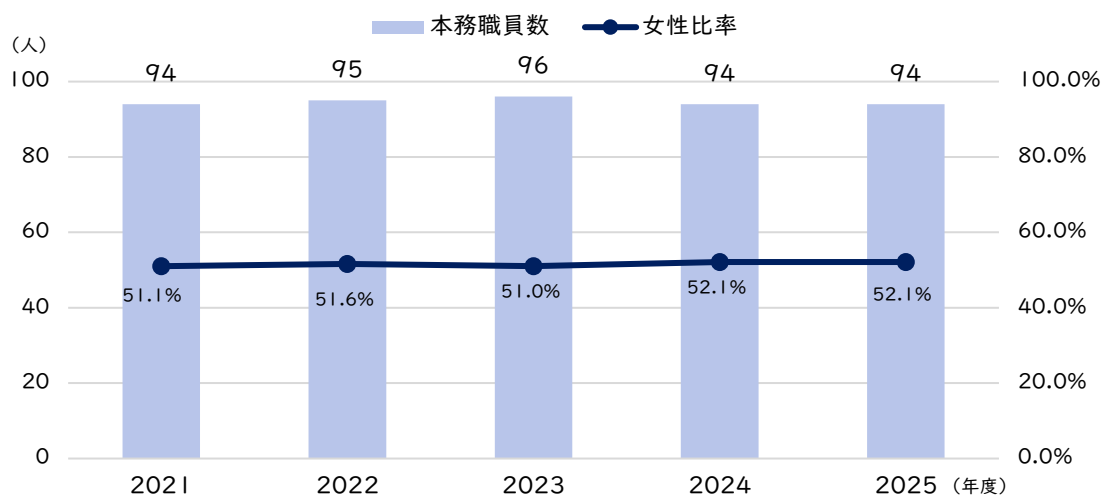


1-2 教職員の構成と教育環境

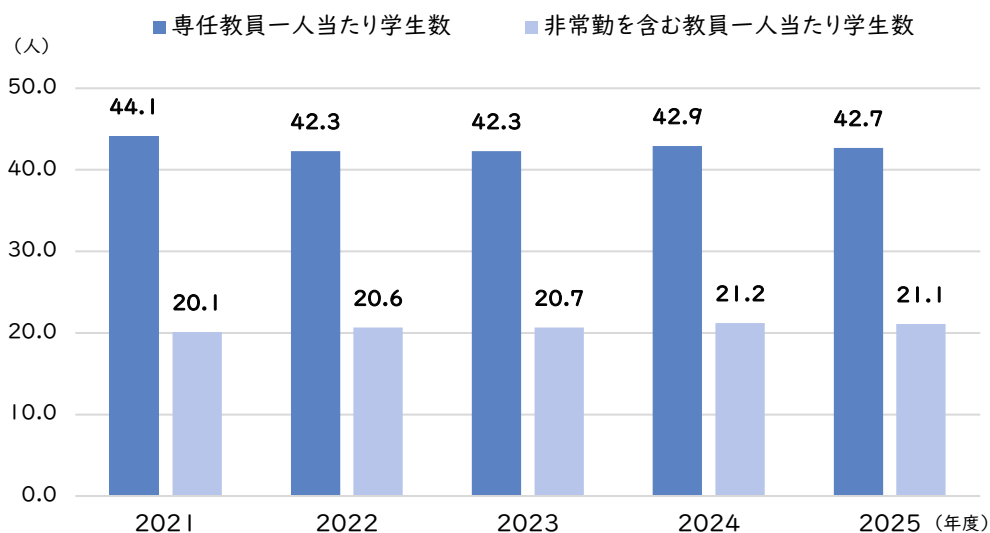
1 専任教員数・女性比率



2 専任職員数・女性比率



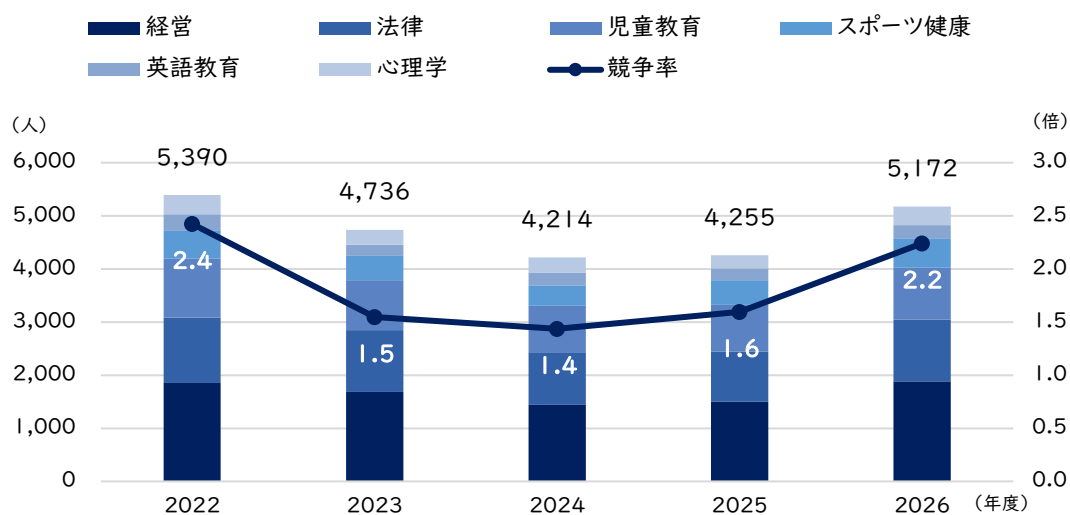
3 教員一人当たりの学生数 (ST 比) の推移



※各グラフの数値は、いずれも各年度5月1日現在の情報です。

2-1 入学者選抜の状況

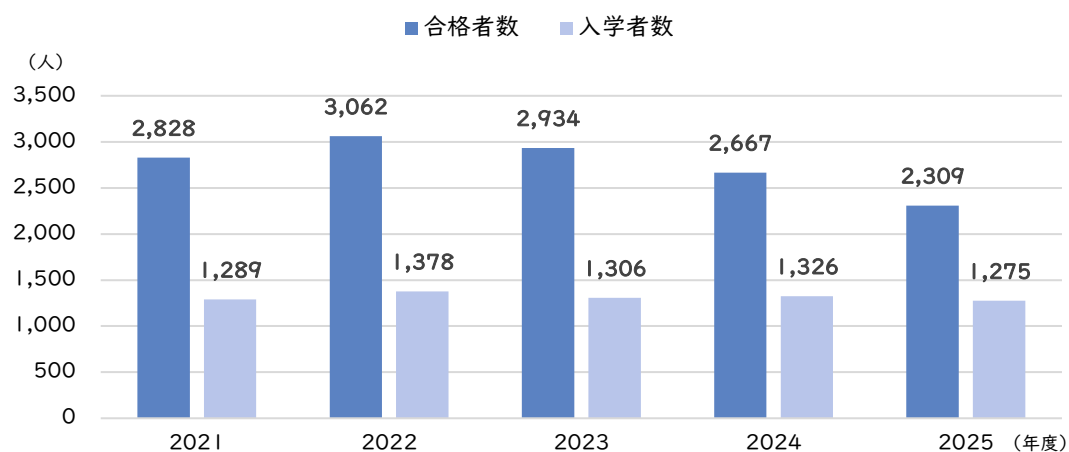
I 学科・専攻別志願者数・競争率

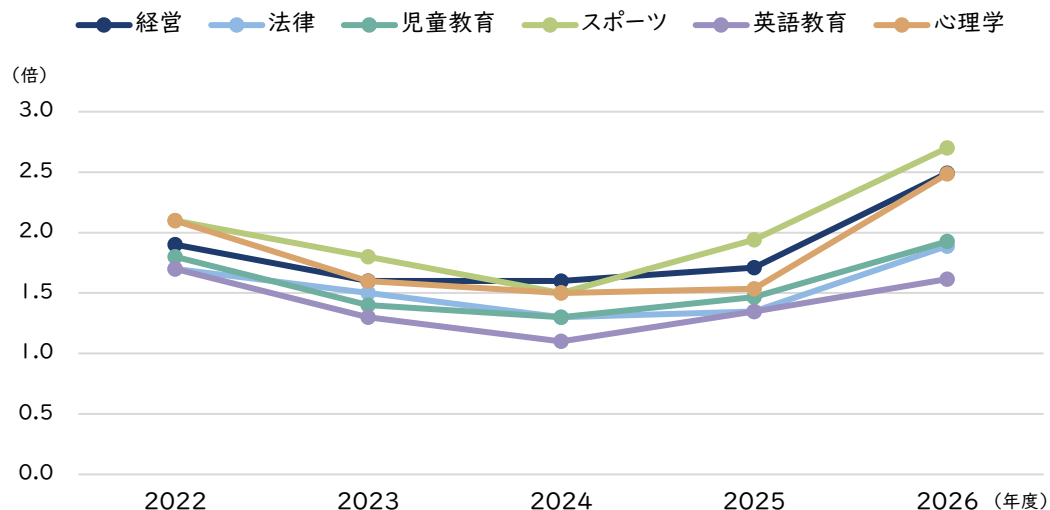


※志願者数は延べ人数で集計しています。

※競争率は、受験者数を合格者数で除して算出しています。

2 全学部 合格者数・入学者数





※倍率は、受験者数を合格者数で除して算出しています。

2-2 志願者・合格者の地域別状況

都道府県別志願者数・合格者数・構成比率 (2026 年度入試)

都道府県	志願者数	合格者数	志願者 構成比率	合格者 構成比率
北海道	13	3	0.3%	0.1%
東北地方	青森県	36	0.7%	1.0%
	岩手県	18	0.4%	0.3%
	宮城県	44	0.9%	1.1%
	秋田県	16	0.3%	0.4%
	山形県	56	1.1%	1.1%
	福島県	537	10.5%	10.9%
	茨城県	667	13.0%	11.0%
関東地方	栃木県	3,105	60.4%	61.8%
	群馬県	321	6.2%	5.8%
	埼玉県	98	1.9%	1.6%
	千葉県	23	0.4%	0.5%
	東京都	11	0.2%	0.2%
	神奈川県	2	0.0%	0.1%
	新潟県	79	1.5%	1.9%
中部地方	富山県	1	0.0%	0.0%
	石川県	1	0.0%	0.0%
	福井県	0	0.0%	0.0%
	山梨県	15	0.3%	0.2%
	長野県	23	0.4%	0.3%
	岐阜県	1	0.0%	0.0%
	静岡県	7	0.1%	0.2%
	愛知県	0	0.0%	0.0%

都道府県	志願者数	合格者数	志願者 構成比率	合格者 構成比率
近畿地方	三重県	2	0.0%	0.0%
	滋賀県	0	0.0%	0.0%
	京都府	5	0.1%	0.1%
	大阪府	5	0.1%	0.2%
	兵庫県	0	0.0%	0.0%
	奈良県	2	0.0%	0.1%
	和歌山県	0	0.0%	0.0%
	鳥取県	0	0.0%	0.0%
中国地方	島根県	0	0.0%	0.0%
	岡山県	10	0.2%	0.3%
	広島県	0	0.0%	0.0%
	山口県	6	0.1%	0.1%
	徳島県	2	0.0%	0.0%
四国	香川県	0	0.0%	0.0%
	愛媛県	0	0.0%	0.0%
	高知県	0	0.0%	0.0%
	福岡県	7	0.1%	0.2%
九州	佐賀県	0	0.0%	0.0%
	長崎県	0	0.0%	0.0%
	熊本県	2	0.0%	0.0%
	大分県	1	0.0%	0.0%
	宮崎県	0	0.0%	0.0%
	鹿児島県	9	0.2%	0.1%
沖縄県	13	3	0.3%	0.1%

志願者数 1,000 人以上

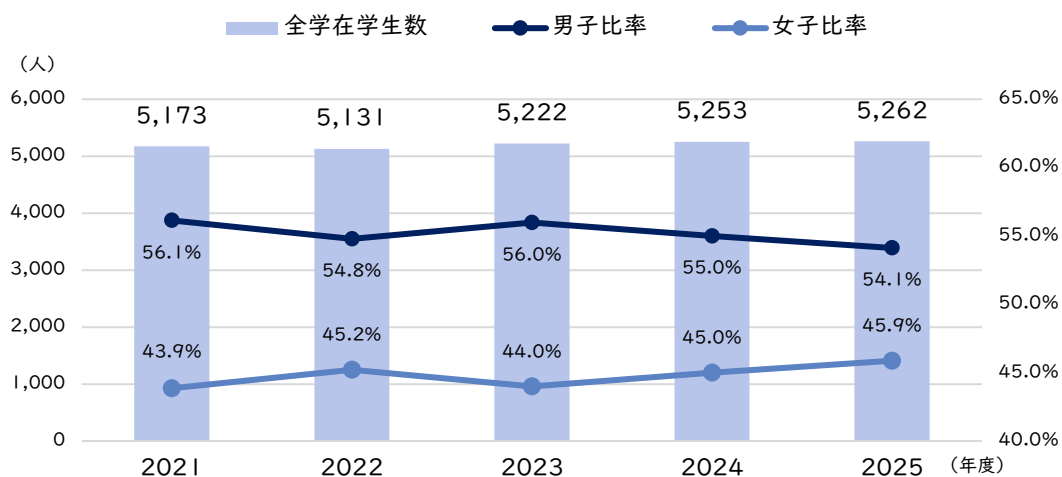
志願者数 100 人以上

※志願者数・合格者数は延べ人数で集計し、併願者は併願数分を出身高校所在地の都道府県に計上しています。

※構成比率は、高等学校卒業程度認定、外国の学校等、専修学校の高等課程を除いた都道府県判明者を分母として算出しています。

3-1 在学生の状況

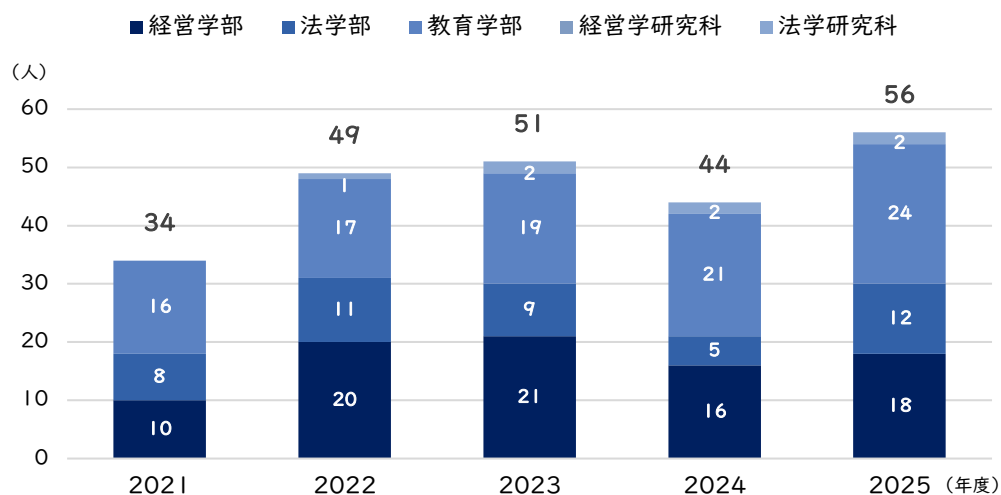
全学在学生数・男女比



※各年度5月1日現在の情報です。

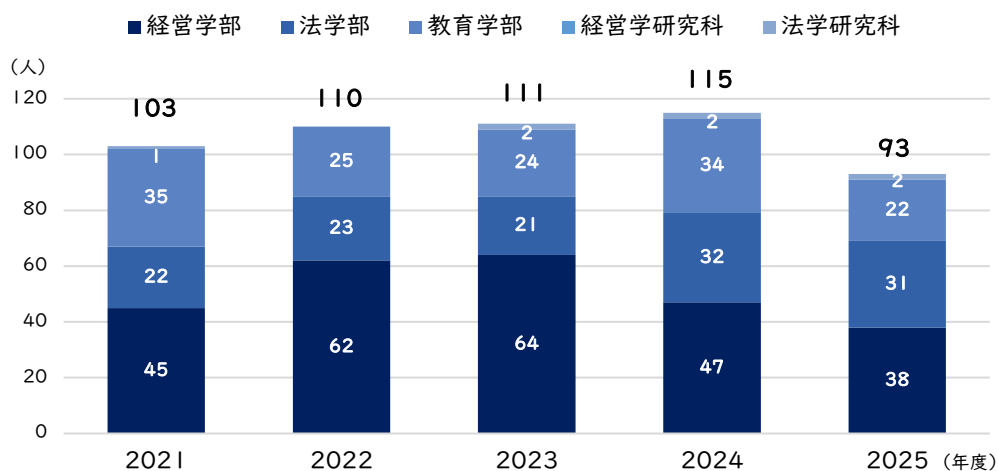
3-2 休学・留年・離学の状況

I 休学者数



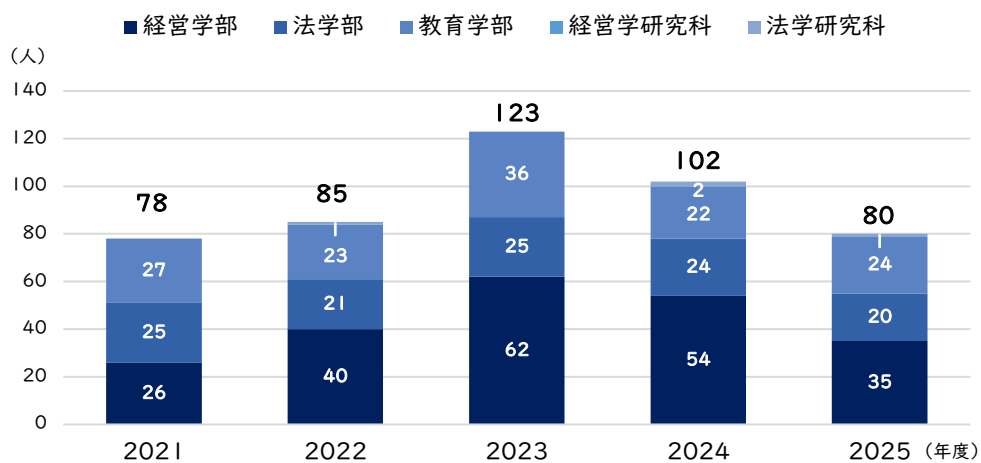
※「休学者数」は、各年度中に休学した人数を指します。

2 留年者数



※「留年者数」は、各年度の5月1日現在において、所定の修業年限を超えて在学している人数を指します。

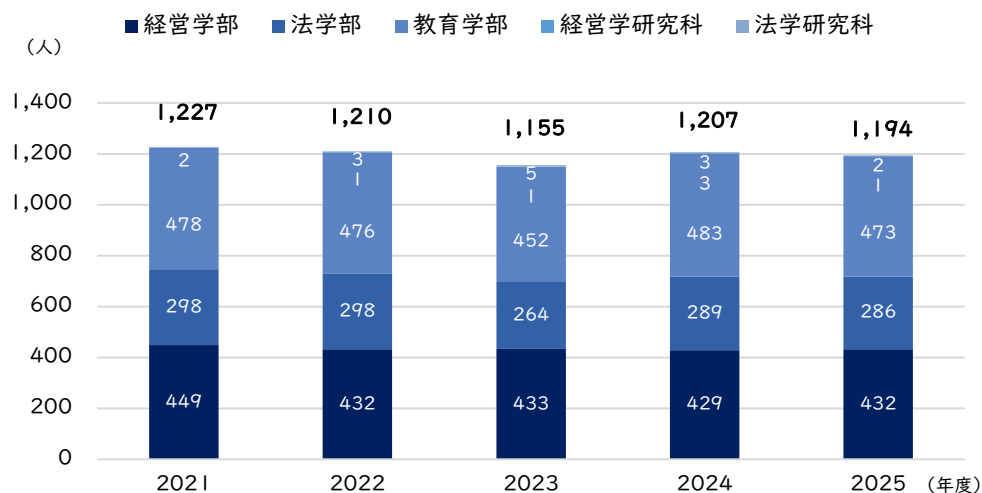
3 離学者数



※「離学者数」は、各年度中に離学(除籍・退学)した人数を指しています。

4-1 卒業・修了の状況

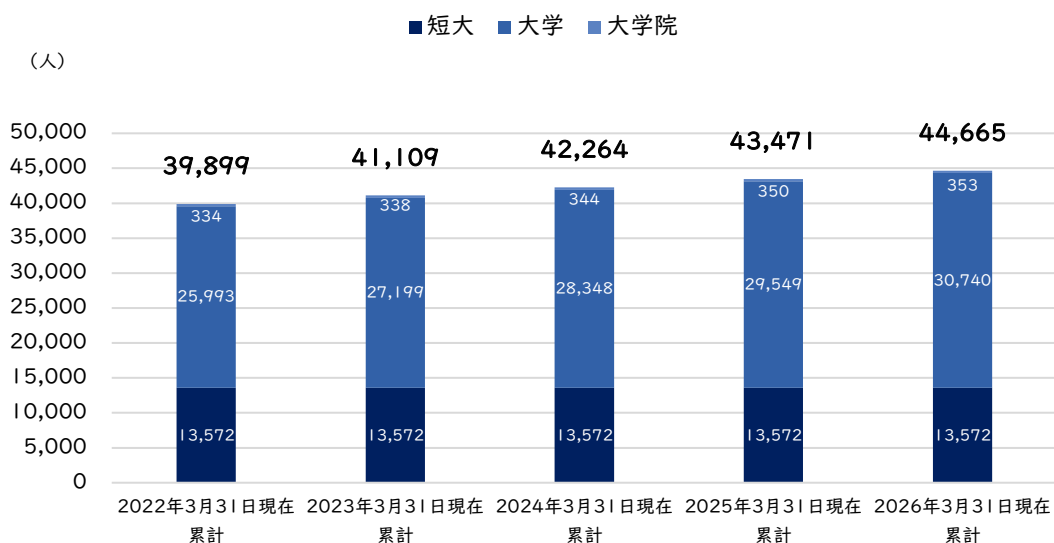
卒業・修了者数



※秋季卒業・修了者を含みます。

4-2 卒業生・修了生の累計

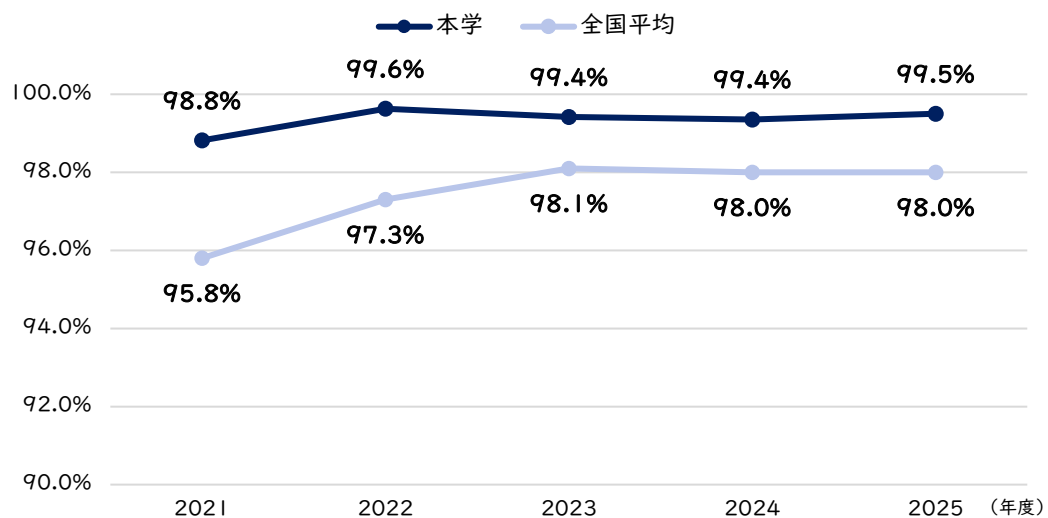
卒業生・修了生累計



※女子短期大学部は、2005年度をもって廃止しています。

4-3 就職の状況

就職率

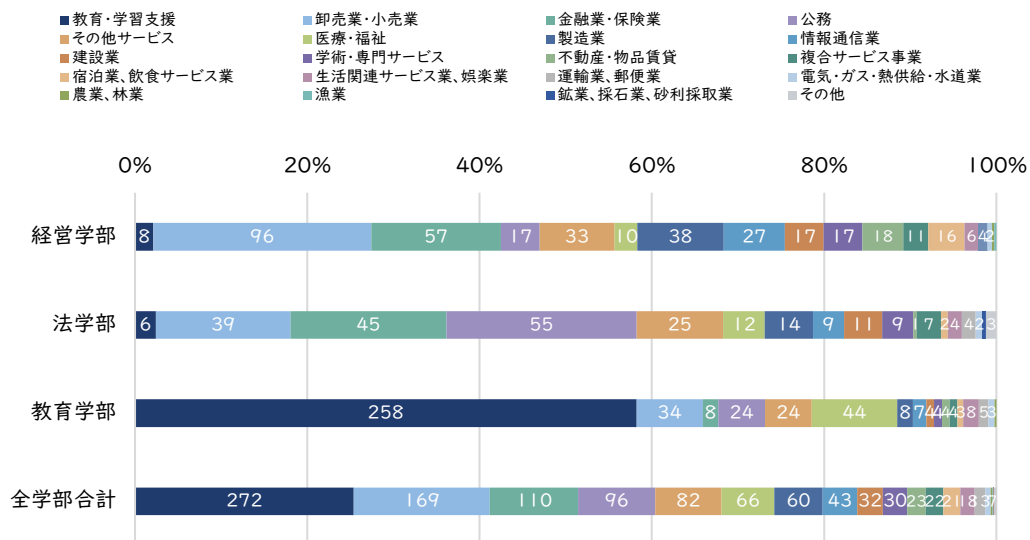


※就職率は、内定者および臨時採用等の人数を就職希望者数で除して算出しています。

※全国平均は、文部科学省・厚生労働省「大学卒業生の就職状況調査」によります。

4-4 学部卒業生の就職先

学部卒業生業種別就職状況



※2025年度卒業生の就職状況を、2026年5月1日現在で集計しています。

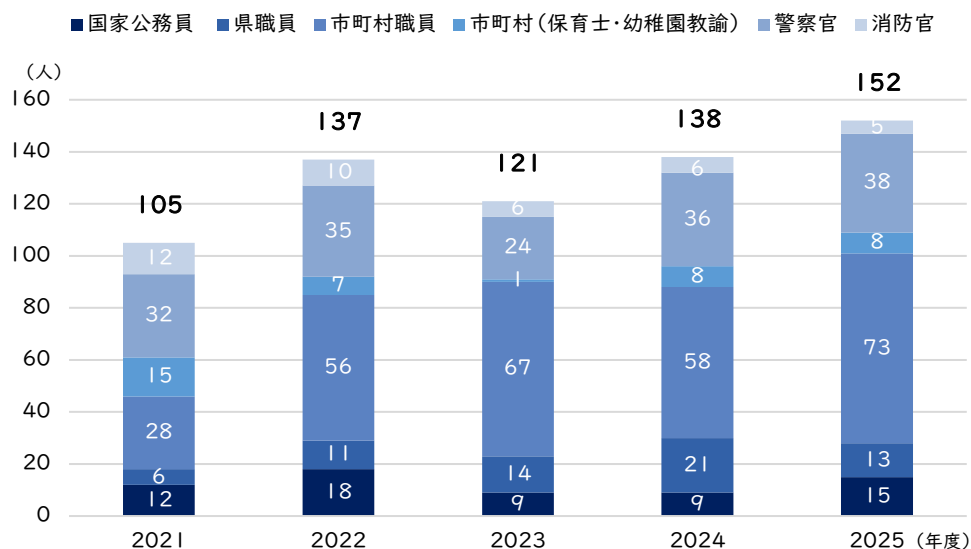
※構成比は、就職先の業種が判明している就職者数を分母として算出しています。

※業種は、全学部合計の就職者数が多い順に掲載し、「その他」は末尾に掲載しています。

※公立の幼稚園、保育園についてはそれぞれ教育・学習支援、医療、福祉にカウントしています。

4-5 公務員採用試験の合格実績

公務員合格者数（職種別）

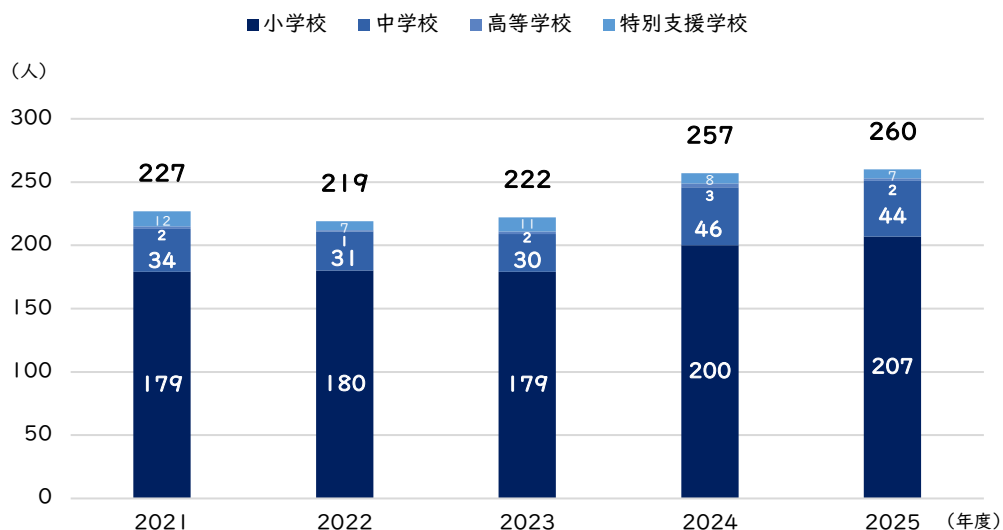


※合格者数は延べ人数です。

※公立学校教員採用試験の正規合格者数は含みません（別掲）。

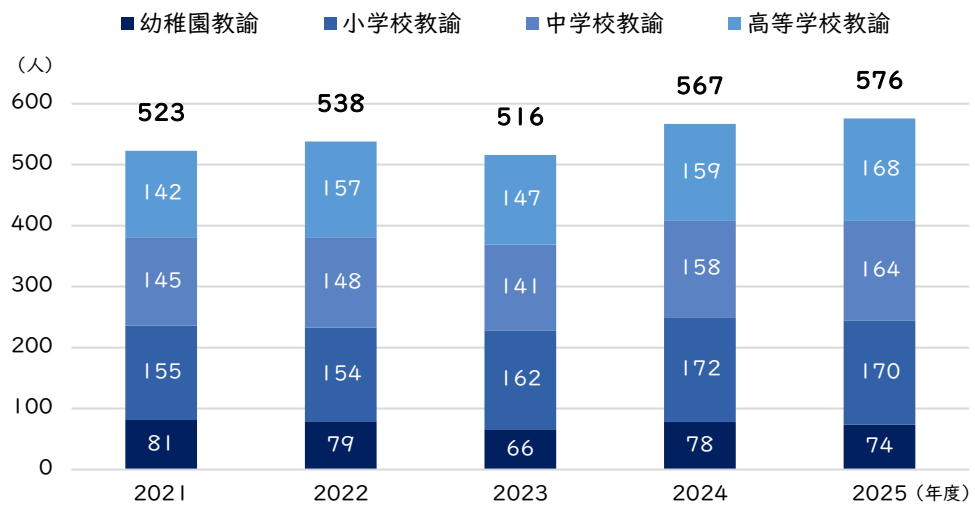
4-5 公立学校 教員採用試験の合格実績

公立学校 教員採用試験の合格者数（校種別）



4-6 教員養成の実績

教員免許状(一種)取得者数



本学では、学生一人ひとりの希望や適性に応じた進路実現を支えるため、入学後から卒業まで継続的な支援を行っています。キャリアサポートセンターを中心に、企業就職、公務員、教員、保育士等を志望する学生に対し、各支援部署が連携してきめ細かなサポートを行っています。

TOPICS

1

就職・進路支援の充実

キャリアサポートセンターでは、就職相談、企業研究、履歴書・エントリーシートの添削、面接指導、学内説明会等を通じて、学生のキャリア形成を支援しています。学生が自身の適性や希望を踏まえて進路を選択できるよう、個別相談を重視しながら、就職活動の準備から内定後まで段階的な支援を行っています。

2025年度の全学部就職率は、99.5%となり、全国平均 98.0%を上回りました。今後も、学生一人ひとりの進路実現に向けて、きめ細かな支援に努めてまいります。

TOPICS

2

教員採用試験における成果

2025年度の公立学校教員採用試験における正規合格者数は 260 人となりました。特に小学校教員採用試験では、現役合格率が 90.1%となり、全国平均 58.0%を大きく上回る結果となっています。

教職支援室では、教職支援アドバイザーによる個別指導をはじめ、論作文、面接、集団討論、模擬授業など、採用試験に対応した実践的な支援を行っています。また、スクールサポート等を通じて教育現場を経験する機会を設けることで、教員をめざす学生の実践力の向上につなげています。

TOPICS

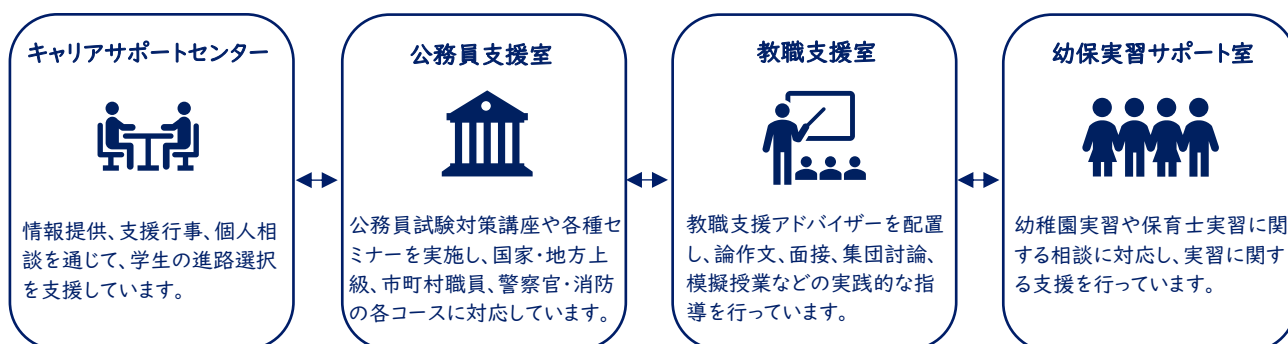
3

実践的な支援体制

本学では、学生の志望進路に応じて、キャリアサポートセンター、公務員試験室、教職支援室、幼保実習サポート室が連携し、企業就職、公務員、教員、幼稚園教諭・保育士等をめざす学生を支援しています。

各種ガイダンスや試験対策講座、実習相談、個別面談等を通じて、学生が目標に向けて計画的に準備を進められるよう、多様な進路に対応した支援を行っています。

一人ひとりの進路実現をサポートする支援体制

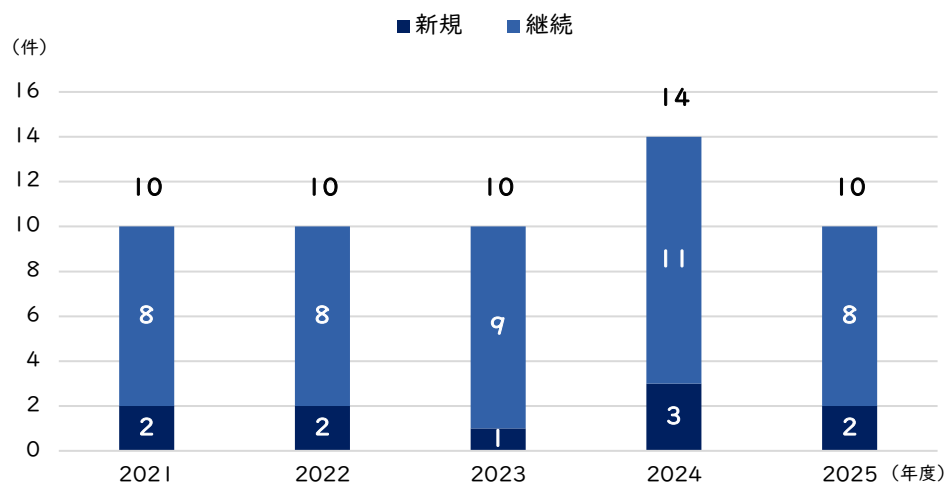


2025 年度実績

全学部就職率	公務員現役合格者数	教員採用試験 正規合格者数	小学校教員採用試験 現役合格率
99.5%	152 人	260 人	90.1%
全国平均 98.0%			全国平均 58.0%

5-1 科学研究費助成事業の採択状況

科学研究費助成事業の採択状況



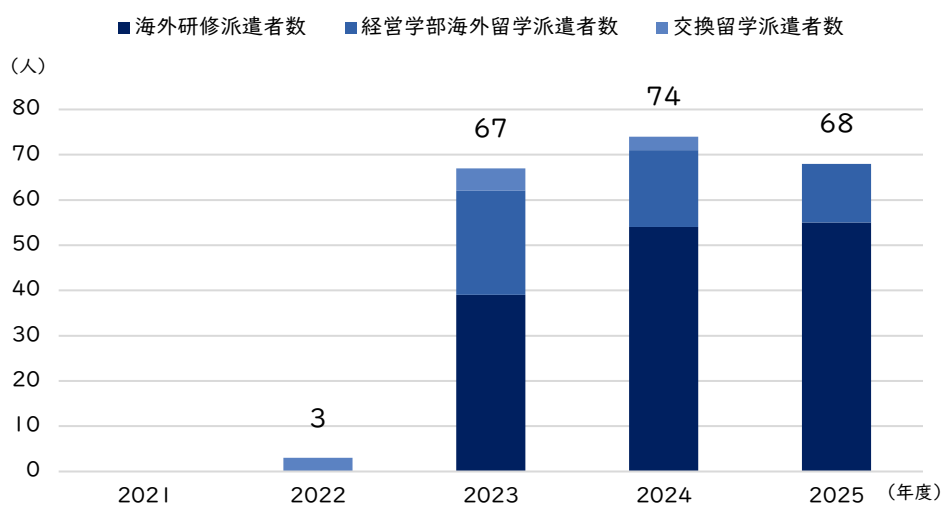
※科学研究費助成事業は、基礎から応用までのあらゆる学術研究（研究者の自由な発想に基づく研究）を発展することを目的とした競争的研究費です。

※件数は、本学の教員が研究代表者として採択された数です。

06 | 国際交流・国際化

6-1 海外留学・研修の状況

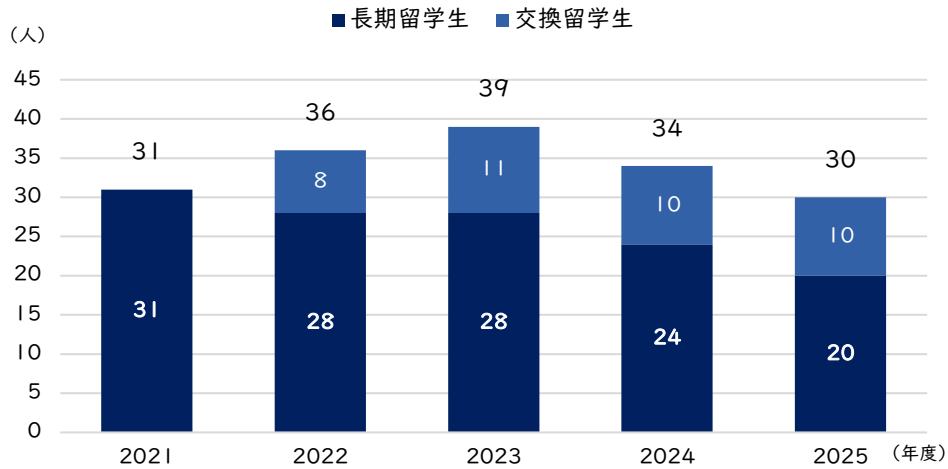
海外派遣学生数



※新型コロナウイルス感染症の影響により、2021年度はすべての海外派遣を休止し、2022年度は交換留学先2校への派遣を除き、休止しました。

6-2 留学生の受入れ

留学生総受入数



※各年度5月1日現在の人数です。
※在留資格「留学」以外の留学生を含みます。
※長期留学生は、本学に4年間在籍し、学位の取得を目指す正規留学生です。
交換留学生は、協定校から半年または1年間受け入れる留学生です。

6-3 海外大学等との連携 (2026年4月1日現在)

国際交流協定機関

地域		6地域 (アジア、北米、南米、北欧、西欧、東欧)			
国		10カ国 (台湾、中国、韓国、タイ、米国、カナダ、ブラジル、ノルウェー、フランス、ウクライナ)			
No.	地域	国名(地域名)	交流大学名	協定締結年	協定内容
1	アジア	韓国(京畿道)	檀国大学	2014	交換留学
2		タイ(バンコク)	タイ国立開発行政研究院	2014	交換留学
3			タマサート大学	2018	交換留学
4		台湾(台南)	南台科技大学	1996	交換留学 海外研修 ダブルディグリー(大学院)
5		台湾(台北)	銘傳大学	2012	交換留学 海外研修
6		中国(北京)	中国伝媒大学	2008	交換留学(学部・大学院)
7		中国(南京)	中国伝媒大学 南広学院	2019	交換留学
8	西欧	フランス(クレティユ)	パリ大学東クレティユ校	2013	交換留学
9	東欧	ウクライナ(ハルキウ)	サイモン・クズネツ記念ハルキウ国立経済大学	2016	基本協定
10	北欧	ノルウェー(ベルゲン)	ベルゲン大学	2010	交換留学
11	北米	米国(ワシントン)	タコマコミュニティカレッジ	2012	経営学部海外留学プログラム
12			ベルビュー カレッジ	2012	経営学部海外留学プログラム
13		米国(インディアナ)	インディアナ大学パデュー大学インディアナポリス校	2006	交換留学 海外研修
14			トライン大学	2007	交換留学
15		米国(インディアナ)	ヴィンセンズ大学	2025	交換留学
16		米国(ハワイ)	ハワイ大学コミュニティカレッジズ	2008	交換留学 海外研修
17			ハワイ大学リーワードコミュニティカレッジ	2025	交換留学
18			ハワイ大学マノア校	2010	交換留学 海外研修
19		カナダ (ブリティッシュ・コロンビア)	ヴィクトリア大学	2012	経営学部海外留学プログラム
20		ブラジル(サンパウロ)	サンパウロ州立大学パウリスタ総合大学	2008	交換留学

※経営学部海外留学プログラムは、経営学部の学生を対象に、原則として2年次後期の約3か月間、ホームステイをしながら海外協定校で英語集中講座を受講する留学制度です。
現地での学修を通じて、英語コミュニケーション能力や異文化適応力を高めることを目的としています。

本学では、学生が国際的な視野を広げ、多様な文化や価値観に触れながら学ぶ機会の充実に取り組んでいます。海外研修制度や交換留学制度に加え、学内における留学生との交流、国際理解に関する講演、学生主体の国際交流活動等を通じて、グローバルな視点を育む環境づくりを進めています。

TOPICS

1

海外研修制度と交換留学制度

夏期・春期休暇中に実施する短期の海外研修制度や、半期または 1 年間、海外協定校で学ぶ交換留学制度を設けています。海外研修では、語学学習に加え、現地の文化体験や学生交流、フィールドワーク等を通じて、異文化理解を深める機会を提供しています。

2025 年度は、インディアナ大学研修、ハワイ大学研修、台湾研修を実施しました。交換留学制度では、海外協定校での学びを通じて、語学力の向上に加え、主体性やコミュニケーション力を高めることをめざしています。



TOPICS

2

学内における国際交流活動

海外に渡航する学生だけでなく、学内でも国際交流を経験できる機会を設けています。キャンパス内交流、留学生特別授業、国際理解講演会、Lunch Chat Time などを通じて、多様な文化や価値観に触れられる環境づくりを進めています。

また、学生団体「SIPS」は、留学啓発や国際交流を目的として活動しています。カンパセーションアワーズ、スタディラウンジ、留学に関する情報発信等を通じて、学生同士の交流や国際的な学びへの関心を広げています。



TOPICS

3

国連アカデミック・インパクト(UNAI)への加盟

本学は、2026 年 3 月 31 日に国連アカデミック・インパクト(UNAI)に加盟しました。UNAI は、国連と世界の高等教育機関との連携を促進する枠組みであり、本学では、国際市民意識の醸成や異文化理解の推進を重視しています。

UNAI への加盟を契機として、教育・研究および国際交流活動の充実に図り、学生が国際社会の課題に関心を持ち、多様な価値観を尊重しながら学ぶ機会を広げていきます。



国際的な学びを支える取組

海外研修制度



夏期・春期休暇中に、短期の海外研修プログラムを実施しています。

交換留学制度



半年または 1 年間、海外協定校で学ぶ制度です。修得単位を本学の単位として申請できます。

SIPS



留学啓発・国際交流を目的とした学生主体のチームです。

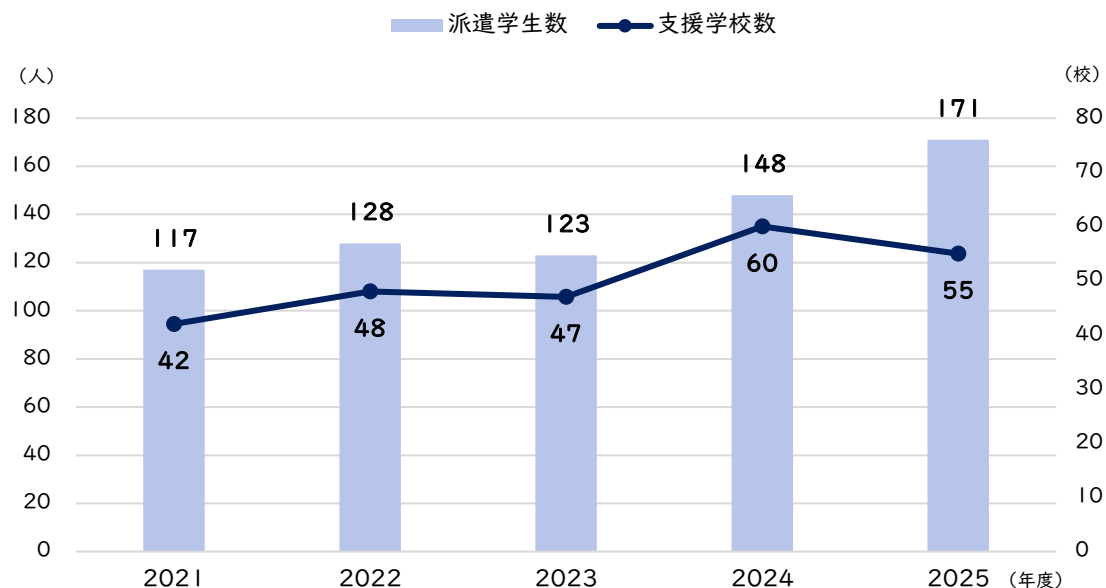
学内国際交流活動



カンパセーションアワーズ、スタディラウンジなどを学内に提供しています。

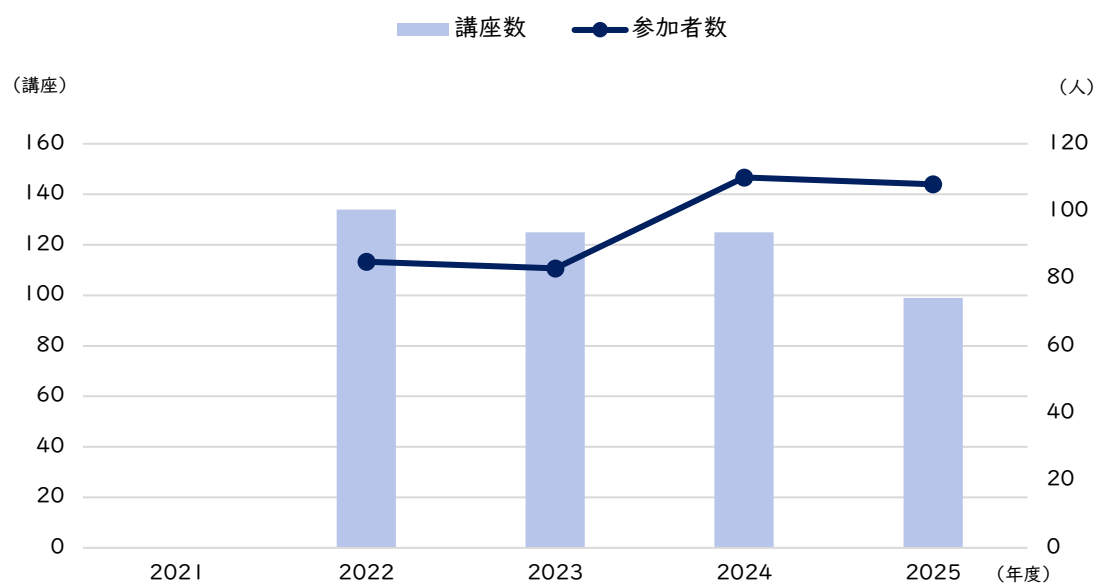
7-1 地域貢献・社会貢献活動の実績

1 スクールサポート派遣学生数と支援学校数

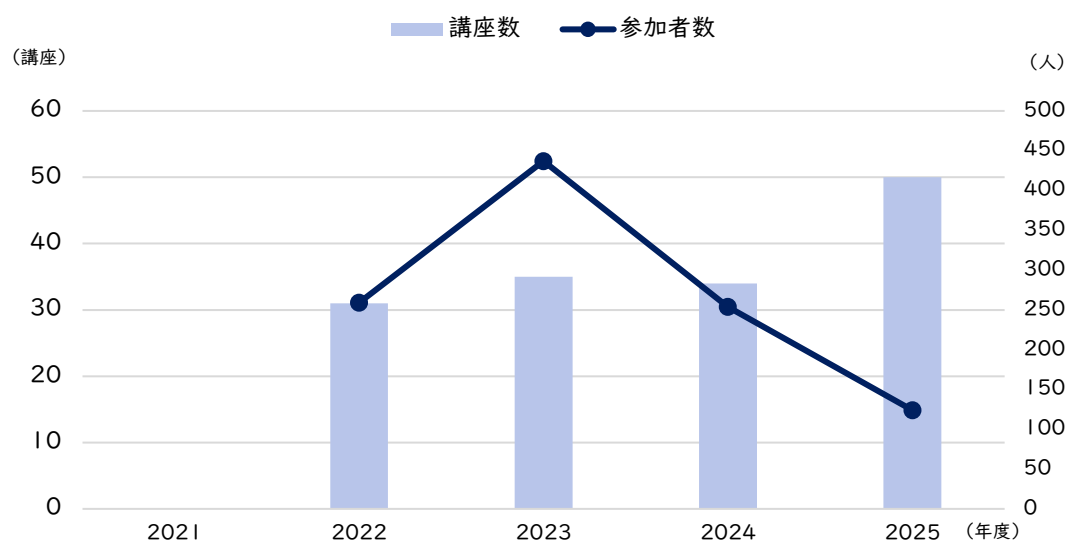


※スクールサポートは、小山市、下野市、古河市、結城市、野木町の5市町教育委員会との協定に基づく、
本学独自の教育支援事業です。
本学学生が、小・中学校等において、現職教員の指導のもと、児童・生徒への学習支援および部活動支援を行う取組です。

2 市民開放講座

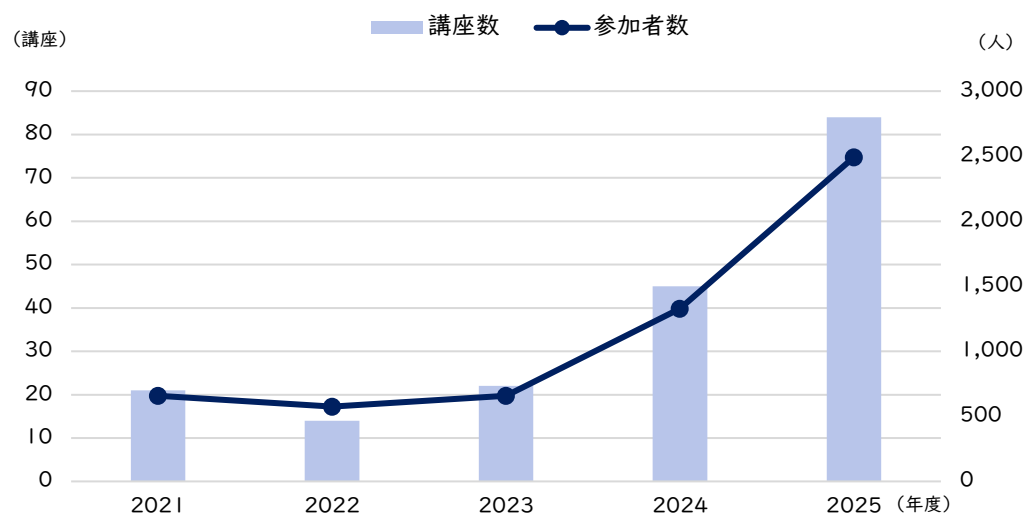


※小山市主催により、本学の通常授業を市民に開放する講座です。
※2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。



※本学主催により、社会人等の教養の深化と地域文化の振興を目的として開設する講座です。

※2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。



7-2 地域連携協定の状況

1 地方自治体との協定

連携先	締結年月	主な目的
小山市	2007年3月23日	地域課題への対応、人材育成、地域社会の発展
結城市	2016年3月16日	地域振興、学校教育・生涯学習、研究・人材育成等の推進
栃木市	2018年3月15日	地域振興、まちづくり、教育の振興等を通じた相互の発展
栃木県	2022年3月23日	地域課題の調査・研究、地域づくり人材の育成
野木町	2025年3月24日	包括的な連携の推進による地域課題への対応と地域社会の発展

2 高等学校・他大学との協定

連携先	締結年月	主な目的
栃木県立鹿沼高等学校	2016年3月16日	高大連携による教育交流、高大接続教育の推進、人材育成
栃木県立小山南高等学校	2016年6月22日	高大連携による教育交流、高大接続教育の推進、地域人材の育成
栃木県立小山城南高等学校	2016年6月22日	高大連携による教育交流、高大接続教育の推進、地域人材の育成
栃木県立栃木商業高等学校	2018年6月22日	高大連携による教育交流、教育内容の充実、人材育成
上越教育大学	2018年11月5日	教員養成の充実、共同研究および学生・教職員交流の推進
栃木県立小山西高等学校	2021年11月24日	高大連携による教育交流、教育内容の充実、人材育成

3 その他機関・企業・団体との協定

連携先	締結年月	主な目的
株式会社足利銀行	2020年11月11日	地方創生の推進、地域活性化、地域人材の育成
株式会社エフエム栃木	2026年3月10日	地方創生の推進、地域活性化、情報発信・防災分野での連携

本学では、地域との連携を通じて、学校教育、生涯学習、人材育成、地域課題への対応等に取り組んでいます。2025年度は、大学の教育資源を生かし、地域とつながる多様な教育活動を展開しました。

TOPICS

1

協定に基づく地域連携の推進

自治体、高等学校・他大学、企業・団体等との協定に基づき、教育、研究、人材育成、地域振興等の分野で連携を進めています。2025年度は、野木町との包括連携協定を締結するなど、地域との連携をさらに広げました。

今後も、大学の知的資源や人的資源を生かし、地域課題への対応や次世代を担う人材育成に貢献していきます。

TOPICS

2

地域の学びを支える教育活動

小山市教育委員会と連携した「キッズ・ユニバーシティ・おやま 2025」では、小学生が大学での学びに触れる機会を提供しました。また、教育学部の学生が主体となって企画・運営した「絵本フェスタ 2025」では、地域の小・中学生や親子を対象に、読書や表現活動を通じた交流の場を設けました。

こうした取組は、地域の子どもたちに学びの楽しさを伝えるとともに、本学学生にとっても教育活動を実践的に学ぶ機会となっています。

TOPICS

3

学校教育・教育現場との連携

教職支援センターでは、栃木県教育委員会の後援を受け、教員研修リレー講座を全6回開催しました。教育現場で求められる知識や実践力の向上を目的に、教職員を対象とした学びの機会を提供しています。また、本学独自の「スクールサポート」では、学生が地域の小・中学校で学習活動や部活動等を支援しています。2025年度は、学生延べ171人が55校で活動しました。

地域とつながる主な取組

キッズ・ユニバーシティおやま



小山市教育委員会と連携し、地域の小・中学生が大学での学びを体験する機会として開催しています。2025年度は、英語教育及び体操競技をテーマとした2講座を実施しました。

スクールサポート



本学独自の「スクールサポート」では、5市町の教育委員会と連携し、教職課程履修者を中心に、学生が地域の小・中学校で、児童・生徒の学習活動や部活動等を支援しています。

教員研修リレー講座



教職支援センターでは、栃木県教育委員会の後援を受け、教員研修リレー講座を開催しています。2025年度は特別支援教育、多文化共生、生徒指導、STEAM教育などを取り上げ、全6回開催しました。

2025 年度実績

スクールサポート

171 人
55 校

において、支援活動を実施

市民向け講座

149 講座
延べ 232 人

市民開放講座・公開講座を実施

高等学校への出前講座

84 講座

進路・学習支援に取り組みました

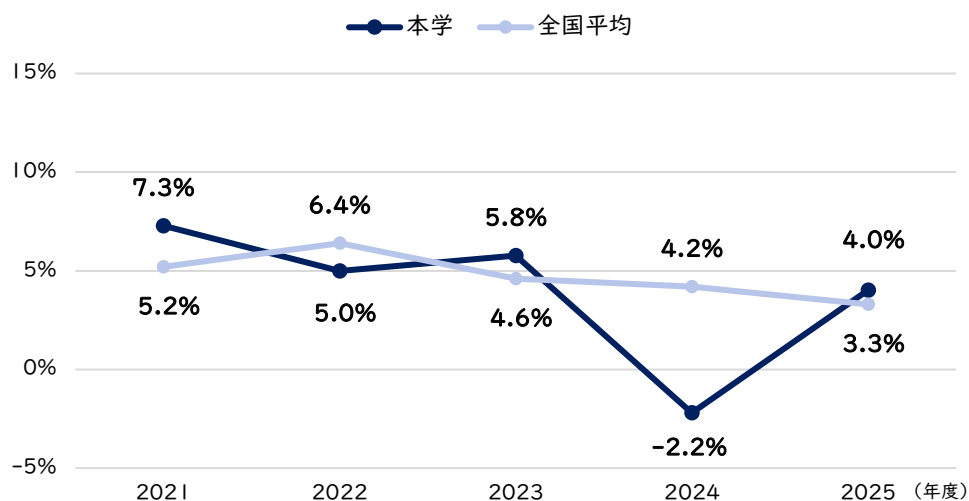
講師派遣等

49 件

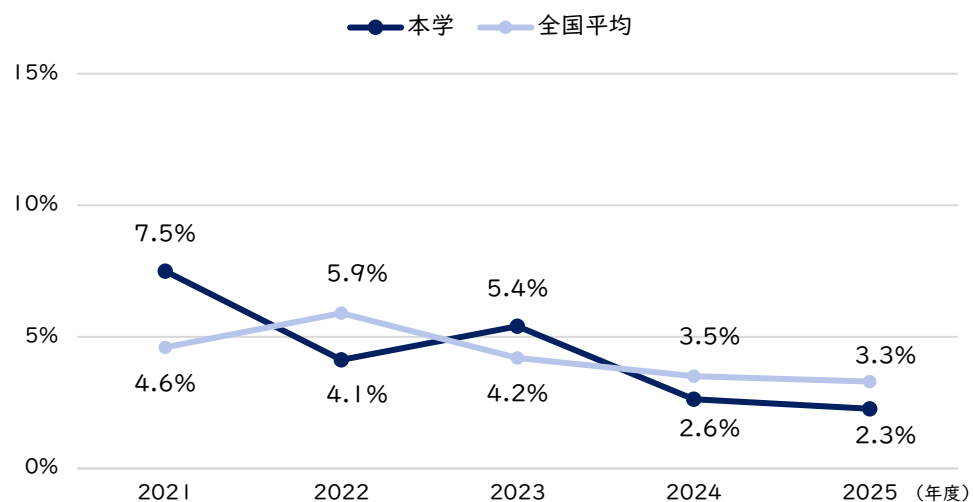
行政・教育・産業・文化の
各分野で貢献しました

8-1 主要財務指標の推移

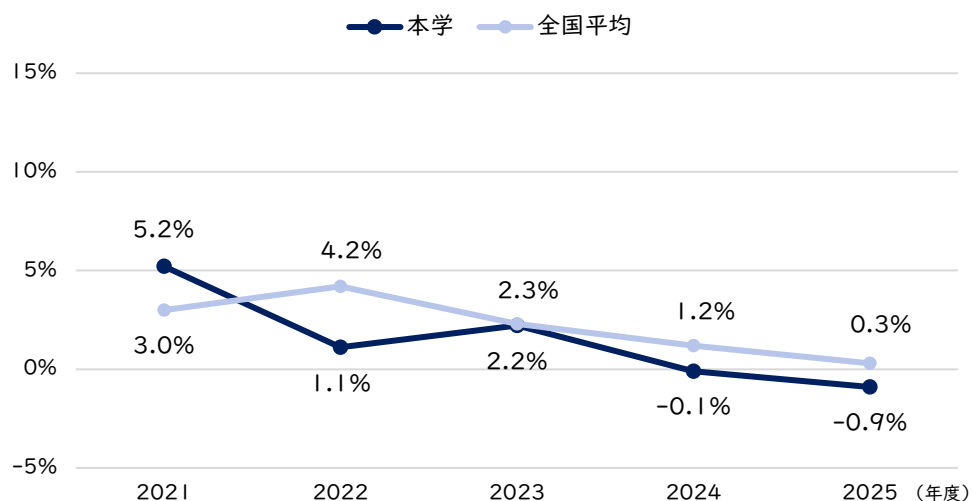
1 事業活動収支差額比率



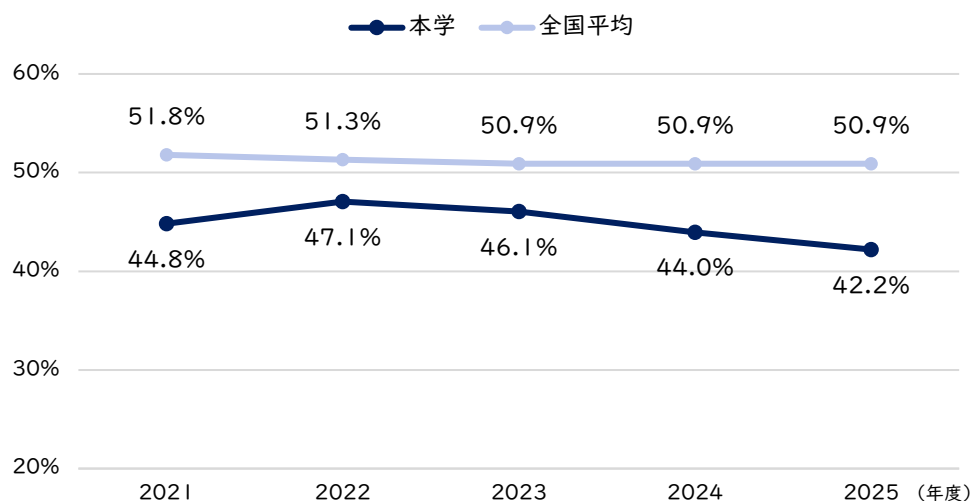
2 経常収支差額比率



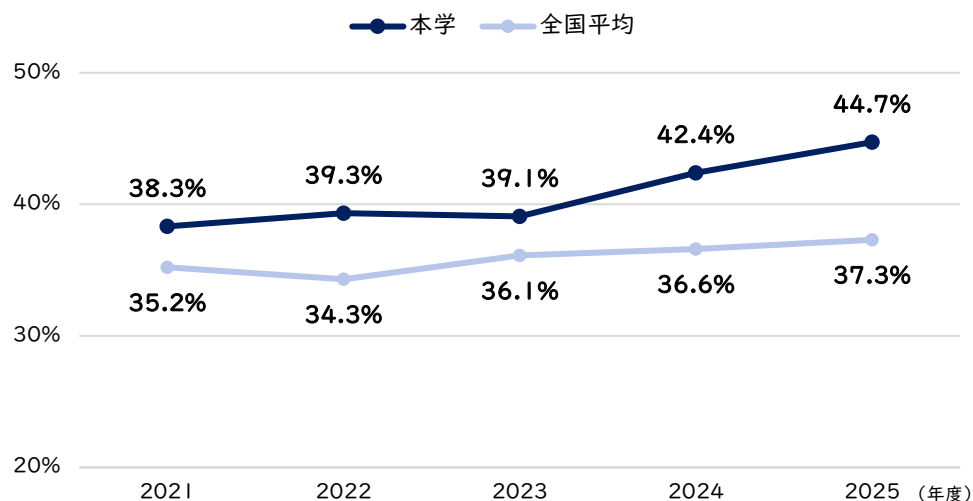
3 教育活動収支差額比率



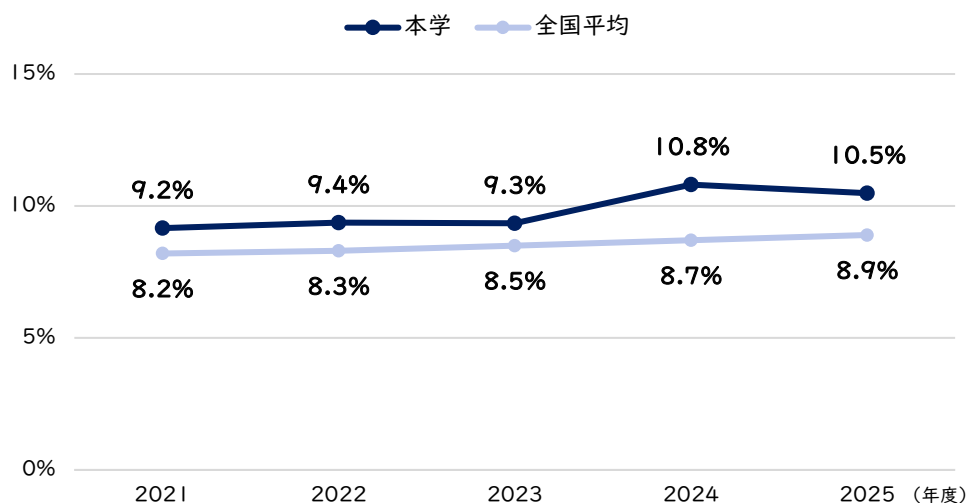
4 人件費比率



5 教育研究経費比率



6 管理経費比率





白鷗大学
HAKUOH UNIVERSITY

学校法人 白鷗大学

2026 年 9 月 発行 経営企画室